# Habataki

2016 年 5 月 30 日 発行

第43号



社会福祉法人
はばたき福祉事業団

〒162-0814
東京都新宿区新小川町 9 番 20 号
新小川町ビル 5F
TEL 03-5228-1200
FAX 03-5227-7126
http://www.habatakifukushi.jp/


生きる力を高め、医療福祉を創造するはばたき福祉事業団
患者が変われば、医療は変わる

## 薬害エイズ裁判和解 20 周年記念集会

## 被害者を含めて 300 名以上が参加！

塩崎大臣は、二度と薬害を起こさないために、医薬品の安全性の確保に最大限の努力を重ねていくことを誓いました

薬害エイズ裁判和解 20 周年記念集会が 3 月 26 日（土）、午後 2 時から、ステーションコンファレンス東京にて開催されました。この日は被害者や医療関係者、行政、和解当時からご支援をいただいた方々など、300 名以上の方が参加され、たいへんな熱気の中で行われました。

主催者のあいさつ、黙とうの後、塩崎恭久厚生労働大臣から順番に全員で献花を行いました。献花終了後、大臣から挨拶がありました。

大臣は、和解から 20 年が経過し、被害者の高齢化や様々な症状、障害のために、医療や福祉、生活面での困難が生じていることや遺族の癒えることのない悲しみを踏まえて、厚生労働省としては、各種施策による包括的な支援確保や遺族への相談事業推進に誠心誠意取り組んでいくことを誓いました。また、長年にわたる化血研の不正行為に対しては、和解に当たり安全な医薬品供給と薬害再発防止に最前、最大の努力を重ねるという誓いに背くものであり、極めて遺憾な事態と表明、厚生労働省としても、今回の不正を見抜けなかった事態を真摯に受けとめ、査察方法の見直しによる再発防止と安心できる供給体制確保に万全を期すると約束しました。

休憩をはさんで、ACC、8 つのブロック拠点病院で救済医療の最前線に立っている医療者によるパネルディスカッションが行われました。長期療養は国頼みと主張する医療者がいる一方で、今後の HIV 医療体制や救済医療の綿密な将来計画を提示する医療者もいました。また、被害者からの訴えでは遺族が代表して 20 年の経過と和解当時を振り返り、患者が次々と亡くなっていく現実や遺族相談会の意義を語りました。医薬食品関係で被害を被った団体の代表からのご挨拶では、サリドマイドの被害者団体いしずえの佐藤嗣道理事長からは、和解後に厚生労働省内に設置された薬害根絶「誓いの碑」の除幕式の思い出に触れ、突然の嵐のような雷雨は被害者の涙のようだったと話をされました。

ACC 及び 8 ブロックの医療者が一堂に会してのディスカッションは初めてのことでした

300 人以上ものたくさんの参加者が集まった集会は本当に久しぶりでした。和解当時の熱気が少しよみがえったような会場の雰囲気でした。

# ACC 新外来　５月９日からスタート

５月９日（月）から、エイズ治療・研究開発センター（ACC）の外来が新しくなりました。通路が広くなったことで、開放感があります。また、血友病包括外来のイスは足関節の悪い血友病患者に配慮したもので、立ち上がる際の負担がだいぶ緩和されるようになりました。多数の外来患者に対応できるように、診察室は血友病包括外来を含めて８室になりました。

ゴールデンウィーク返上で引っ越し作業をして下さった ACC スタッフの皆様には、本当に感謝いたします。今後は、新外来で被害患者の救済に一層まい進していただきますよう、お願いいたします。

ACC外来のプレート（上）。奥に診察室がみえます（左）。血友病包括外来の様子（下）。

# 第 12 回はばたきメモリアルコンサート

第 12 回はばたきメモリアルコンサートが、４月 12 日（火）午後７時から、浜離宮朝日ホールで開催されました。今回はモルゴーア・クァルテットの特集ということで、２年ぶりに「やすらぎの翼」が演奏され、またコンサートでは初めての演奏となるボロディンの夜想曲など、４曲を演奏。終了後、ご来場の方からは、本当に素晴らしい演奏だったと感想が寄せられました。そのモルゴーアのメンバーと競演した若手フルート奏者の竹山愛さんも、フルートの美しい音色を聴かせてくれました。そして、昨年体調を崩されて急きょ出演を辞退されたピアニストの石岡久乃さんも、今回は竹山さんとともにプログラムのトップを飾る演奏で登場。女性二人による素晴らしい演奏でした。アンコールは出演者全員で「歌の翼に」を演奏。編曲をして頂いたのは、金井勇さん。毎回楽器の編成が異なるので、編曲も苦労されていると思います。金井さんには、３月 26 日の和解 20 周年記念集会で篳篥（ひちりき）の演奏もしていただきました。

被害者の思いを詩にしたためて、池辺晋一郎先生の即興ピアノにのせての朗読は、自らも被害者でありながら、被害者の夫を看病し、そして二人の子どもを立派に育て上げた女性の姿を伝えました。

また、当日は多くの方からご寄附も頂戴いたしました。たくさんのお心遣い、心より感謝申し上げます。ご寄附をいただいた方々には、被害者遺族が作成した手作りのグッズをお渡しし、また会場にはメッセージを掲示して感謝を伝えました。皆様、本当にありがとうございました。

２年ぶりに出演したモルゴーア・クァルテットの演奏は聴きごたえ十分でした

# はばたきミニコンサートが 10 月 22 日（土）に開催

第６回はばたきミニコンサートが、10 月 22 日（土）午後２時から開催いたします。会場は昨年と同じく汐留ホールです。ミニコンサートは、音楽を趣味にしている様々な分野の方が出演され、プロの演奏家とは違った楽しみがあります。今回も、全国訪問看護事業協会の伊藤雅治さんがシャンソン、そして東京 HIV 訴訟弁護団の水口真寿美さんが歌曲を歌います。そして今回新たに加わっていただく出演者はジャズピアノを演奏する弁護士の松本恵美子さん。お店でも演奏することもあるという本格派です。また、来場者全員で合唱を行う「みんなで歌おう」のコーナーもあります。今回は、「みんなで歌おう」の指揮をお願いしている方による独唱もあり、合唱だけではなく、ご自身の歌でも会場を盛り上げていただけると思います。賛助会員の方はご来場いただけます。この機会に賛助会員に加入してぜひご参加ください。

# 化血研・宮本理事長 原告団・弁護団に謝罪

被害者の前で正式に謝罪をした化血研・宮本理事長

一般財団法人化学及血清療法研究所（化血研・熊本市）の宮本誠二理事長が4月23日（土）、東京HIV訴訟原告団・弁護団の前に姿を現し、「和解の精神を踏みにじる行為で、本当に申し訳ありませんでした。みなさまにお詫び申し上げます」と頭を下げ、正式に謝罪をしました。不正発覚からおよそ10か月が経過してのことでした。

宮本理事長は「最高の薬を届けたいと思うがあまり、手続きを怠ってしまった。独善的だったと思う」などと話し、技術的な弁解に終始しました。出席した被害者からは、これは謝罪なのかという声が上がりました。

3月17日に熊本の化血研本社で宮本理事長らと面談したときにも感じたことですが、科学万能論を振りかざし、最高の技術が医療を解決するという信念にとらわれ、実際にその薬を使う被害者への思いは伝わってきませんでした。

約1時間の説明・謝罪・釈明でしたが、昨年の6月頃からの問題は10か月を経過しました。いかに化血研が薬害エイズ事件と原告を軽んじていたのかがわかります。製薬会社も多くの反省・教訓を生じた不祥事を起こしています。薬害根絶への教訓は自らの胸に刻み、人の喜び、涙、悲哀、怒りをしっかり見つめてほしいと思います。

## 支部便り

### ●北海道支部

平成28年度最初の事業は「札幌医療講演会・はばたき交流会」で4月30日に開催しました。北海道原告団総会後に毎年行っているもので今年度は患者・家族・遺族7名、ブロック拠点病院より看護師3名の参加がありました。始めに3月に東京で行われた薬害エイズ裁判和解20周年記念集会の様子を撮影したDVDを上映し、続いて今春発行された「血友病薬害被害者手帳」についてはばたき福祉事業団の柿沼事務局長が活用方法など詳細を説明しました。後半は研究班で実施している「iPad健康調査について～電話がけから感じること～」と題して坂本専門家相談員が講演しました。

平成19年12月に開設したHIV検査・相談室「サークルさっぽろ」は、28年4月末時点での受検者数はのべ7115人で、相談件数は検査時で848件、結果時で539件に上ります。検査時には、受検者の約12%の方が相談されており、相談室としての役割も担っています。

### ●東北支部

昨年のリハビリ勉強会に続き、今年はリハビリ検診を9月3日（土）午前10時から、仙台医療センターにて開催いたします。筋力や可動域の測定、歩行チェック等を行います。また、昨年も好評だった靴の補高や様々な装具のお試しコーナーなどもあります。東北地区の被害患者対象ですので、ぜひご参加ください。

### ●中部支部

和解から20年の節目を迎えました。長い年月が経過しても変わらない偏見と差別の中、今までには無い問題も生まれています。今後も、原告の一人一人に寄り添い一緒に歩んで行ける様に少しずつ進んで行きたいと思います。そして10年後が笑って話せる社会になる様、今後も頑張って活動して行きたいと思っています。

### ●九州支部

4月14日と16日の地震以降、熊本・大分在住の被害者の安否を確認するため、はばたき福祉事業団本部と九州支部から連絡のとれる方に電話がけをしました。多くの方についてご無事であることがわかりましたが、なかには、交通機関が止まって通院が困難となったため急きょ別の病院で薬を処方してもらったという患者や、自宅が倒壊して仮住まいを余儀なくされている遺族もいて、今後も地震の影響が心配されます。被害者が安心して療養や生活ができるよう、九州医療センターにも協力をお願いして、支援していきたいと思います。

# 平成 27 年度決算報告

平成 27 年度の決算が、5 月 21 日（土）に開催された社会福祉法人はばたき福祉事業団第 59 回理事会にて承認されましたので、ご報告いたします。

## 平成27年度　社会福祉法人会計統括表

### 貸借対照表

平成28年3月31日現在　（単位円）

| 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 7,338,329 | 16,609,167 | 23,947,496 |
| 現金預金 | 5,979,929 | 16,609,167 | 22,589,096 |
| 事業未収金 | 801,380 | 0 | 801,380 |
| 前払金 | 496,800 | 0 | 496,800 |
| 前払費用 | 60,220 | 0 | 60,220 |
| 基本財産 | 100,000,000 | 0 | 100,000,000 |
| 定期預金 | 100,000,000 | 0 | 100,000,000 |
| その他の固定資産 | 167,045,029 | 2,662,678 | 169,707,707 |
| 土地 | 8,510,384 | 0 | 8,510,384 |
| 建物 | 6,440,278 | 0 | 6,440,278 |
| 器具及び備品 | 1,264,696 | 886,573 | 2,151,269 |
| 権利 | 7,531,250 | 0 | 7,531,250 |
| ソフトウェア | 729,467 | 1,776,105 | 2,505,572 |
| 拠出金積立資産 | 142,568,954 | 0 | 142,568,954 |
| 資産の部合計 | 274,383,358 | 19,271,845 | 293,655,203 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 3,308,164 | 416,918 | 3,725,082 |
| 事業未払金 | 3,026,664 | 416,918 | 3,443,582 |
| 前受金 | 281,500 | 0 | 281,500 |
| 負債の部合計 | 3,308,164 | 416,918 | 3,725,082 |
| 純資産の部 | | | |
| 基本金 | 9,000,000 | 1,000,000 | 10,000,000 |
| 資本金 | 9,000,000 | 1,000,000 | 10,000,000 |
| その他の積立金 | 142,568,954 | 0 | 142,568,954 |
| 拠出金積立金 | 142,568,954 | 0 | 142,568,954 |
| 次期繰越活動増減差額 | 119,511,793 | 17,849,374 | 137,361,167 |
| 時期繰越活動増減差額 | 119,511,793 | 17,849,374 | 137,361,167 |
| （うち当期活動増減差額） | 1,186,915 | △ 1,496,051 | △ 309,136 |
| 純資産の部合計 | 271,080,747 | 18,849,374 | 289,930,121 |
| 負債及び純資産の部合計 | 274,388,911 | 19,266,292 | 293,655,203 |

### 事業活動収支計算書

（自）平成27年4月1日　（至）平成28年3月31日　（単位円）

| 区分 | | 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 相談事業収益 | 64,304,860 | 4,000,000 | 68,304,860 |
| | | 調査研究事業収益 | 0 | 16,000,000 | 16,000,000 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 1,592,859 | 0 | 1,592,859 |
| | | サービス活動収益計(1) | 65,897,719 | 20,000,000 | 85,897,719 |
| | 費用 | 人件費 | 25,387,066 | 6,157,234 | 31,544,300 |
| | | 事業費 | 4,144,827 | 2,244,597 | 6,389,424 |
| | | 事務費 | 35,571,047 | 12,147,800 | 47,718,847 |
| | | 減価償却費 | 1,820,262 | 949,527 | 2,769,789 |
| | | サービス活動費用計(2) | 66,923,202 | 21,499,158 | 88,422,360 |
| | | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | △ 1,025,483 | △ 1,499,158 | △ 2,524,641 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 受取利息配当金収益 | 131,129 | 3,107 | 134,236 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 2,081,270 | 0 | 2,081,270 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 2,212,399 | 3,107 | 2,215,506 |
| | 費用 | | | | |
| | | サービス活動外費用計(5) | 0 | 0 | 0 |
| | | サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5) | 2,212,399 | 3,107 | 2,215,506 |
| | | 経常増減差額 (7)=(3)+(6) | 1,186,916 | △ 1,496,051 | △ 309,135 |
| 特別増減の部 | 収益 | サービス区分間繰入金収益 | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | | 特別収益計(8) | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | 費用 | 固定資産売却損・処分損 | 1 | 0 | 1 |
| | | サービス区分間繰入金費用 | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | | 特別費用計(9) | 222,647 | 473,978 | 696,625 |
| | | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | △ 1 | 0 | △ 1 |
| | | 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | 1,186,915 | △ 1,496,051 | △ 309,136 |
| 繰越活動増減差額の部 | | 前期繰越活動増減差額 (12) | 121,420,416 | 19,345,425 | 140,765,841 |
| | | 当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12) | 122,607,331 | 17,849,374 | 140,456,705 |
| | | 基本金取崩額 (14) | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の積立金取崩額 (15) | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の積立金積立額 (16) | 3,095,538 | 0 | 3,095,538 |
| | | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)-(15)-(16) | 119,511,793 | 17,849,374 | 137,361,167 |

### 資金収支計算書

（自）平成27年4月1日　（至）平成28年3月31日　（単位円）

| 区分 | | 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 相談事業収入 | 64,304,860 | 4,000,000 | 68,304,860 |
| | | 調査研究事業収入 | 0 | 16,000,000 | 16,000,000 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 1,592,859 | 0 | 1,592,859 |
| | | 受取利息配当金収入 | 131,129 | 3,107 | 134,236 |
| | | その他の収入 | 2,081,270 | 0 | 2,081,270 |
| | | 事業活動収入計(1) | 68,110,118 | 20,003,107 | 88,113,225 |
| | 支出 | 人件費支出 | 25,387,066 | 6,157,234 | 31,544,300 |
| | | 事業費支出 | 4,144,827 | 2,244,597 | 6,389,424 |
| | | 事務費支出 | 35,571,047 | 12,147,800 | 47,718,847 |
| | | 事業活動支出計(2) | 65,102,940 | 20,549,631 | 85,652,571 |
| | | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 3,007,178 | △ 546,524 | 2,460,654 |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | 0 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 固定資産取得支出 | 918,000 | 0 | 918,000 |
| | | 施設整備等支出計(5) | 918,000 | 0 | 918,000 |
| | | 施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5) | △ 918,000 | 0 | △ 918,000 |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| | | サービス区分間繰入金収入 | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | | その他の活動収入計(7) | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | 支出 | 積立資産支出 | 3,095,538 | 0 | 3,095,538 |
| | | サービス区分間繰入金支出 | 222,646 | 473,978 | 696,624 |
| | | その他の活動支出計 (8) | 3,318,184 | 473,978 | 3,792,162 |
| | | その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8) | △ 3,095,538 | 0 | △ 3,095,538 |
| 予備費支出 (10) | | | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | | △ 1,006,360 | △ 546,524 | △ 1,552,884 |

| 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高 (12) | 5,042,078 | 16,733,220 | 21,775,298 |
| 当期末支払資金残高 (11)+(12) | 4,035,718 | 16,186,696 | 20,222,414 |

# 平成 28 年度予算

また、平成 28 年度の予算も、3 月 13 日（日）の第 57 回理事会で承認されましたので、こちらもご報告いたします。

### 平成28年度　資金収支予算表

（自）平成28年4月1日　（至）平成29年3月31日　（単位：円）

| 区分 | | 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 相談事業収入 | 58,336,142 | 4,000,000 | 62,336,142 |
| | | 調査研究事業収入 | 0 | 16,000,000 | 16,000,000 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 |
| | | 受取利息配当金収入 | 15,000 | 0 | 15,000 |
| | | その他の収入 | 2,700,000 | 0 | 2,700,000 |
| | | 事業活動収入計 (1) | 64,051,142 | 20,000,000 | 84,051,142 |
| | 支出 | 人件費支出 | 24,786,463 | 6,600,000 | 31,386,463 |
| | | 事業費支出 | 3,879,280 | 3,295,000 | 7,174,280 |
| | | 事務費支出 | 37,224,679 | 11,805,000 | 49,029,679 |
| | | 事業活動支出計(2) | 65,890,422 | 21,700,000 | 87,590,422 |
| | | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | △ 1,839,280 | △ 1,700,000 | △ 3,539,280 |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 施設整備等支出計(5) | 0 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資産取崩収入 | 4,500,000 | 0 | 4,500,000 |
| | | サービス区分間繰入金収入 | 7,204,280 | 900,000 | 8,104,280 |
| | | その他の活動収入計(7) | 11,704,280 | 900,000 | 12,604,280 |
| | 支出 | サービス区分間繰入金支出 | 7,204,280 | 900,000 | 8,104,280 |
| | | その他の活動支出計(8) | 7,204,280 | 900,000 | 8,104,280 |
| | | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | 4,500,000 | 0 | 4,500,000 |
| 予備費(10) | | | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | | 660,720 | △ 1,700,000 | △ 1,039,280 |

| 勘定科目 | 社会福祉事業 | 公益事業 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高(12) | 7,487,078 | 16,233,220 | 23,720,298 |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | 8,147,798 | 14,533,220 | 22,681,018 |

はばたき福祉事業団の活動は、拠出金や補助金、助成金などで運営されています。しかし、運営費用は年々厳しさを増してきており、経費節減の努力を最大限にしておりますが、事業を安定的に取り組み、被害者を永続的に救済していくためには、多くの方からのご寄附、賛助金等のご支援が欠かすことができません。

はばたき福祉事業団は、平成 23 年 11 月 1 日に税額控除対象法人となり、はばたき福祉事業団へのご寄附は、以下のように税制上の優遇措置の対象となります。

＜個人によるご寄附＞
所得控除と税額控除のうち、有利な方を選べます。税額控除は、税額から直接控除額を差し引きますので、所得控除と比べて減税効果が大きく、寄附者にとって大きなメリットになります。

＜法人によるご寄附＞
一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金として算入できます。こうした制度もご利用していただき、ぜひとも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**【郵便振替】**
**口座番号：00130-4-409457**
**名義：社会福祉法人はばたき福祉事業団**


## 社会福祉法人はばたき福祉事業団
Social Welfare Project HABATAKI Welfare Project

- 東 京 本 部　〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9 番 20 号
新小川町ビル 5F
TEL 03-5228-1200　FAX 03-5227-7126
- 北海道支部　〒064-0805 札幌市中央区南 5 条西 10 丁目
サンハイツ南 5 条 1005 号
TEL/FAX 011-551-4439
- 東 北 支 部　〒980-0812 仙台市青葉区片平 1 丁目 2-38
チサンマンション青葉通り 403 号　増田法律事務所気付
TEL/FAX 022-215-0303
- 中 部 支 部　〒461-0001 名古屋市東区泉 1-1-35 ハイエスト久屋 5F
柴田・羽賀法律事務所気付
TEL/FAX 0583-89-4909
- 九 州 支 部　〒810-0062 福岡市中央区荒戸 3-2-5
東峰マンション第一西公園 303 号
TEL/FAX 092-717-6329